

備品等のほか、國債、社債、株式等の有價證券貳百九拾七萬余円、銀行預金及び現金計八拾壹萬余円合計參百七拾九萬余円であつた。このうち前述中央労働學園に寄附したルより除いた分に清算費<sup>一萬三千九百元</sup>を減入<sup>六千九百元</sup>加へたものか、即ち清算費で金八拾六萬余円であるか、解散に伴ふ支出六拾余萬円を除いた金貳拾五萬余円を以て清算事務及び記録（協調會誌稿本）編集の費用に充當したのである。尚ほ清算中日本興業銀行普通預金拾五萬千余円が第二封鎖として棚上げニ至るのうち僅かに壹萬円のサカ第一封鎖への繰入<sup>此を中央労働學園に譲渡し</sup>（學園では第二封鎖も學校經營費に充當）<sup>一</sup>、本會は云の代りを得ず第二封鎖預金はこれと中央労働學園に譲渡し（學

麻布区本町所在運動場七六五坪を拾五萬余円で賣却して代り財源としたのであつた。

#### 第六項 協調會誌稿本の作成

清算人會は、清算報告書と一<sup>テ</sup>計數のほかに本會の沿革について記録<sup>一</sup>（協調會誌稿本）を編集することを決議した。これに本會内に編集會を設けて編集委員を置き、之のうちから會長及び監修を互選し、又床がに囑託を置くこととした。添田、千葉、松村三清算人及び元理事小野武夫氏の四名を委員とし、互選の結果添田會長小野監修が決定したが、ほかに奥澤篤次郎氏が囑託<sup>一</sup>を編集主任となつた。